

活性化WGの活動状況について



P6参照

東大電気系同窓会
活性化WG

活性化WGのメンバー

メンバー(36名)

卒業年代	学内関係(23名)	学外関係(13名)
1970~1979	広瀬啓吉72、菊池和朗74、	小粥幹夫70、新谷洋一75、渡部直也75、 畠山靖彦76
1980~1989	中野義昭82、田畑仁87教、山下真司88	江村克己80、荒川薫80、濱中直樹83、 小路元85
1990~1999	根本利弘90、峯松信明90、池田誠91、 苗村健92、小野亮95、藤本博志98博、 山崎俊彦99	岡本裕介90、三浦剛91、宝珠山治91、 國頭吾郎95、諏訪啓97
2000~2009		
2010~ 学生メンバー	平田郁恵D2、松井勇祐D1、成末義哲M2、 西田祐木M2、城怜史M1、峠仁人M1、 中村鮎葉4年、山本直人4年、嶋紘之3年、 樋口海里3年、	
事務局	南佳子	

活性化の狙いと実現ステップ

ICT活用促進フェーズを経て、先進的な活動促進フェーズへ

* ホームページ運営 (会員の情報発信促進)

* 会報に替わるWeb縮刷版

* 総会イベント・懇親会を定例化 (HCDに併設)

* メールマガジン発行 (一斉メール)

* 事務管理オンライン化 (名簿検索、各種払込み)

* 歴史アーカイブ (セピア色の三号館)

* コミュニティ会館サイト

* 若年層対策 (五月祭企画支援)

* 学生活動支援 (五月祭企画)

* 世代間交流 (特別講義の講師選考支援)

* シニア向けICT講座の開設 (タブレット端末WS)

WGの活動内容

先進的な同窓会活動推進

2012年度～

<活動の高度化>

学生活動支援の組織化
世代縦断的な繋がり醸成
各種コミュニティの立上げ

<ICTの普及促進>

シニア向け企画、実施

ICTの活用促進

2008-11年度

<ICT基盤構築と情報交流促進>

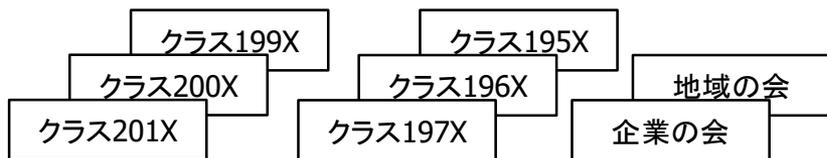
同窓会ホームページ
クラスブログ、地方支部ブログ
コミュニティ会館 (会員限定サイト)

<従来同窓会>
会報・名簿型

2007年5月

同窓会活動の高度化領域

<コミュニティ階層> 会員が主催する集まり



世代間の繋がり

世代縦断的交流の場

専門コミュニティ

ICTサークル

Aサークル

Bサークル

<サービス階層> 会員に提供する各種サービス

対象: 同窓会員

レベル2

HP, ブログ, メルマガ

会員Webサービス

学生活動支援基金

サークル支援サービス

レベル1

イベント

懇親会

名簿

<コア階層>

同窓会の運営組織

総会

会則

理事会

事務局

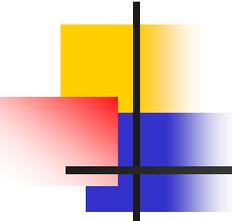
評議員会

活性化WG

戦略・企画・実施組織

イベント担当Gr

基金委員会



これまでの活動成果

- 学生活動支援
 - 電気系学生の五月祭委員会に同窓会が3年連続で募金支援し、若年層への電気系アピールに貢献した
 - その結果として、駒場生進学振り分けが回復してきた
- 同窓会総会・イベント
 - 継続的に興味ある総会イベントを企画・実施
- ICT活用促進
 - タイムリーな情報提供環境(HPやメルマガ)が定着
 - 会員サービスのオンライン化で会員の手間軽減
 - シニア向けタブレット端末ワークショップの実施

成果：学生支援（五月祭活動）

- 電気系特別展示「未来体験2013」
 - 4年生、3年生で実行委員会を構成
 - PV(プロモーション・ビデオ)を製作
<https://www.youtube.com/watch?v=W8JT9LAzNfU>
- これに向けて、同窓会OBより募金
 - 79万円弱の寄付(前年度、133万円余り)
- その結果
 - May Festival Awards(MFA)の学術文化展示部門で2年連続優勝を達成
 - 今年度も、駒場生他に電気系の魅力を強力にアピール
 - 駒場からの進学振り分け：ここ3年間で、底点が最高、また学科志望数も上昇傾向<詳細P7、P8>



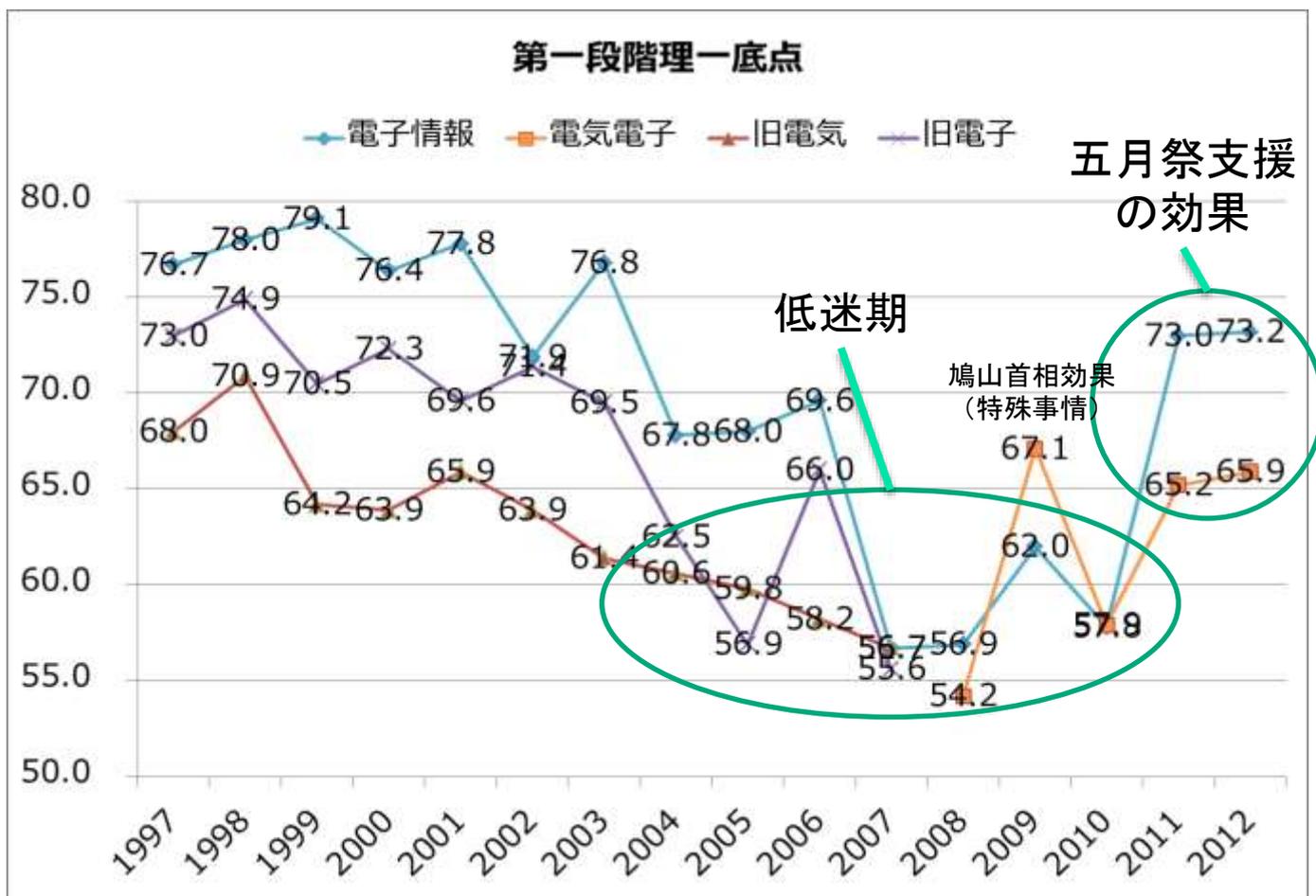
進学振分けへの効果(1)

■ 2013年6月段階での希望者数



進学振分けへの効果(2)

■ 2012年9月時点での底点(理一)



成果：2012年度講演会・総会

■ 講演会：

- 日本の持続的成長に向けたエネルギー戦略
- 講演3名(東大：江崎氏、八井氏、経産省：村上氏)、パネル討論会、モデレータ(東大：大崎氏)



■ 総会

- 2011年度事業報告、2012年度事業計画、役員交代、活性化WGの報告、学部生より五月祭の報告、本郷・駒場の現況報告



ICT普及促進（シニア会員向け講習）

■ 狙い

- ITに距離を置くシニアに向け、タブレット端末による簡易なICT活用法を提示
- これにより、同窓会で進めてきたICT化にシニアがキャッチアップできるよう支援

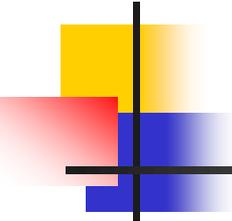
■ 2012年度の成果と課題

- 前回総会時にタブレット端末のワークショップを開催し、ITに距離を置くシニアの関心惹起
- 参加者が11名と少なく、その後の継続実施には至らず

■ 今後の進め方

- 2013年度もタブレット端末のワークショップを企画・実施予定





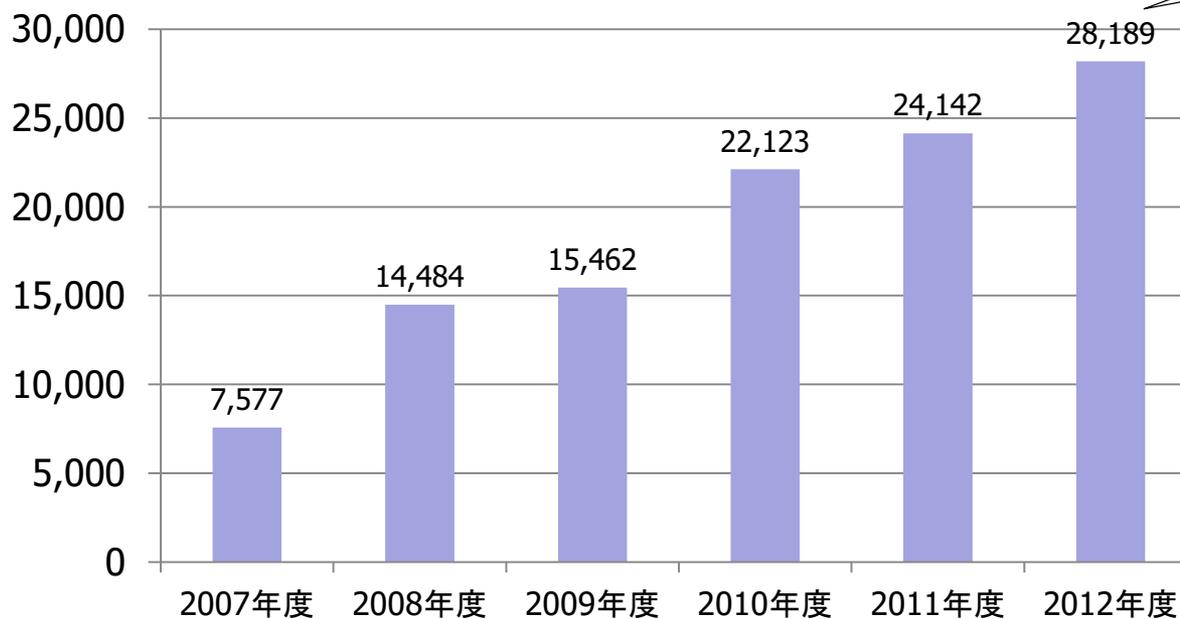
今後の課題

- 2013年度総会・イベントの企画・実施
 - ビッグデータを主題として講演会、パネル討論
- 学生活動支援
 - 3年目を経過し、寄付額が減少しつつある
 - 継続的に活動支援ができるような仕組みを検討する
- 世代縦断的な繋がり醸成促進：
 - この秋、まず特別講師の選考過程に同窓会協力予定
 - 先輩、後輩が気兼ねなく集える場としてフェイスブックのグループ立上げを検討し、具体化する予定
- 会内コミュニティの形成：
 - 現在未形成であるが、シニア向けICT講習のフォローアップなど検討予定

<参考> ICT基盤の利用状況

- サイトアクセス数は年度毎に増加
- ICT基盤による情報交流が徐々に促進

トップページアクセス数



2012年度：
77.2アクセス／日